

# NFC所蔵作品選集 MoMAK Films @ Goethe

NFC所蔵作品選集

NFC所蔵作品選集

## MoMAK Films @ Goethe

全作品35mm、外国語作品は日本語字幕付

上映時間：各回 14:00～19:00頃(開場は13:30)

上映作品は予告なく変更する場合があります。

上映作品、各回のスケジュールについては京都国立近代美術館HP([www.momak.go.jp](http://www.momak.go.jp))にてご確認ください。

料金—1プログラム 500円、当日券のみ

先着 100席

当日13:30より受付で当日分のすべての作品の整理番号付き入場券を販売、開場いたします。各回入替制です。2回目以降は各上映開始の10分前に開場します。

ご入場は整理番号順で自由席です。(椅子席、複数席があります。)

入場券は当日・当該回のみ有効です。なお、前売券はありません。

会場内での飲食はご遠慮願います。

主催—京都国立近代美術館(MoMAK)

東京国立近代美術館フィルムセンター(NFC)

協力—ドイツ文化センター

お問い合わせ

京都国立近代美術館 Tel. 075-761-4111

[www.momak.go.jp](http://www.momak.go.jp)

ドイツ文化センター(京都) Tel. 075-761-2188

[www.goethe.de/kyoto](http://www.goethe.de/kyoto)

会場—Goethe-Institut Japan in Kyoto

ドイツ文化センター(京都)

606-8305 京都市左京区吉田河原町 19-3

(川端通荒神橋上ル) Tel. 075-761-2188

NFC 東京国立近代美術館フィルムセンター  
National Film Center  
The National Museum of Modern Art, Tokyo

GOETHE-INSTITUT  
JAPAN  
ドイツ文化センター



交通

・京阪電車「出町柳」駅 2番出口から徒歩8分

・京阪電車「神宮丸太町」駅 5番出口から徒歩約6分

・地下鉄丸太町「丸太町」駅 御所の中をてくてく歩いて20分

・京都市バス 16、17番「荒神橋」から徒歩約2分

・市バス 3、4、17、205番「荒神橋」から徒歩約5分

・会場には駐車場がありません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

モマックフィルム!

[2009年度上映予定]

## 2009年5月23日(土) ドイツ

1920年代に黄金期を築き、数多くの巨星を輩出したドイツ映画界。ナチ台頭による過渡期に焦点をあて、のちにドイツを離れるジードマーク、オフェルスの初期作品と、ロシア人ヴォルコフのウーファ特作作品を紹介。激動の時代に亡命を余儀なくされた映画人たちの仕事を通して、異文化観やドイツ映画に培われた技術力を見る。  
主催：京都国立近代美術館、東京国立近代美術館フィルムセンター、ドイツ文化センター(京都)  
激情の嵐('31, 監督：ロベルト・ジードマーク)  
ヨシワラ('36, 監督：マックス・オフェルス)  
東洋の秘密('28, 監督：アレクサンダー・ヴォルコフ)

## 2009年9月12日(土) フランス

シネマトグラフの発明に端を発する“映画の国”フランス。無声映画期から戦後にかけて鉤欄たるフランス映画史を築きあげた監督たちの中から、クレール・デュヴィヴィエ、トゥールヌール、グレミオンをとりあげ、彼らの初期代表作を紹介。ジャンルや表現手法の多彩さ、パリや地方を舞台とした地域表象の魅惑を通して、フランス映画の潮流を辿る。  
巴里の暗黒街('32, 監督：モーリス・トゥールヌール)  
巴里一伯林('31, 監督：ジュリアン・デュヴィヴィエ)  
幕間('24, 監督：ルネ・クレール)  
燈台守('29, 監督：ジャン・グレミオン)

## 2009年11月 ソヴィエト

1920年代に世界を席巻したソヴィエト映画の豊富な成果を横断的に紹介。帝政ロシア時代のエフゲーニー・パウエル監督門下から宣伝映画を経て、グルジア映画を築いたベレスチアーニと、理論・実作の両面からソヴィエト映画を主導したクレシヨフ、クレシヨフ工房出身のバルネット。彼らの活劇、喜劇に底流するモダニティを再確認する。  
国境の町('33, 監督：ポリス・バルネット)  
赤い小悪魔('23, 監督：イワン・ベレスチアーニ)  
ポリシェヴィキの国におけるウェスト氏の異常な冒険('24, 監督：レフ・クレシヨフ)

## 2010年1月 中国

映画大国・中国の、1930年代末から40年代の激動の映画状況を比較。アメリカ映画の影響と洗練された話法や娯楽性で黄金期を築いた上海映画に描かれた上海、中満合作の「萬世流芳」が再現した瓜州。そして満鉄の芥川光蔵がドイツ製レンズで切り取った満洲。これらに描かれた中国社会、映画人の視点、を多角的に検証する。  
娘々廟会 (にゃんにゃんめやをばい)('40, 監督：芥川光蔵)  
萬世流芳('42, 監督：ト萬蒼、朱石麟、馬徐維邦、張善琨、楊小仲)  
街角の天使('37, 監督：袁牧之)

## 2010年3月 日本

P.C.L.・東宝のモダンな作風を体現した伏水修のミュージカル・コメディを特集。生涯100年を機に、黒澤明に夭折を惜しまれた伏水の仕事を見直す。あわせて、生涯105年を迎える斎藤寅次郎の真骨頂ともいふべき、発掘作2篇を含むスラップスティック・コメディを上映。  
モダン怪談 100,000,000円! (松竹グラフ版)('29, 監督：斎藤寅次郎)  
石川五右衛門の法事 (パチベビ短編版)('30, 監督：斎藤寅次郎)  
爆弾花嫁('35, 監督：佐々木啓祐)  
君を呼ぶ歌('39, 監督：伏水修)  
世紀の合唱 愛国行進曲('38, 監督：伏水修)  
東京ラブソディ('36, 監督：伏水修)

## 京都で NFCの映画コレクション が観られる!

東京国立近代美術館フィルムセンター(NFC)が所蔵する約6万本におよぶ内外の名作映画のコレクション。この貴重な映画の一部が京都でも鑑賞できるようになります。京都国立近代美術館とフィルムセンターはNFC映画コレクションの京都での定期上映を目指して努力を重ねてきました。このたび京都の映画関係者のご理解とご支援、ドイツ文化センター(京都)の全面的協力のもとに、同センター・ホールを会場としてMoMAK Films @ Goetheプロジェクトをスタートします。2009年5月23日の第1回(ドイツ映画特集)を皮切りに、今年度は20世紀前半の各国映画の特集を年間5回の予定で上映します。

### ●ピアノ伴奏……長谷川慶岳

(ピアノ伴奏者=東京芸術大学音楽学部作曲科を経て、同大学院修士課程作曲専攻を修了。その後フランスに留学。パリ・エコール・ノルマル音楽院作曲科ディプロム・スヴェリウールを首席で取得。現在、大阪音楽大学准教授)

全作品 35mm、外国語作品は日本語字幕付  
上映作品は予告なく変更する場合があります。

MOMAK Films @ Goethe

# MoMAK Films @ Goethe

[上半期上映作品]

2009年5月23日(土)

[ドイツ]

## ① 激情の嵐 14:00-15:22

STÜRME DER LEIDENSCHAFT  
(82分・白黒)

刑期を終えて出所した男が恋人に裏切られ、再び犯罪に手を染めてしまうという破滅的な人生が描かれる。ジードマークはナチス台頭後にフランスへ、さらに1938年にハリウッドへ渡り、『幻の女』(1944年)や『殺人者』(1946年)といったフィルム・ノワールの秀作を生み出した。

▶31(ウーファ)(監)ロベルト・ジードマーク(脚)ロベルト・リープマン、ハンス・ミュラー(撮)ギュンター・リッター(美)エーリッヒ・ケッテルブート(音)フリードリッヒ・ホルンダー(出)エミール・ヤニクス、アンナ・ステン、トルーデ・ヘスターベルク、フランツ・ニクリッシュ

## ② ヨシワラ 15:45-17:05

YOSHIWARA  
(80分・白黒)

『恋愛三昧』(1932年)の流麗な演出で、たちまちドイツ映画界の新星となったマックス・オフェルスがフランスで撮影した一篇。日清戦争前夜の世情を背景に、ロシアの軍人と芸者の恋を描いたが、田中路子は声の代役を拒み、フランス語を猛勉強して撮影に臨んだ。

▶36(フィルム・エクセルシオール=ミロ・フィルム)(監)マックス・オフェルス(原)モーリス・デコブラ(脚)アーノルト・リップ、ヴォルフガング・ヴィルヘルム、J・ダボワニー(撮)オイゲン・シュフタン(美)アンドレ・バルザック、レオン・バルザック(音)ハウル・テッサウ(出)田中路子、ビエール・リシャール=ヴィルム、早川雪洲、ロラン・トゥータン、リュシエンヌ・ルマルシャン

## ③ 東洋の秘密 17:30-19:13

GEHEIMNISSE DES ORIENTS

(103分・20fps・無声・染色と彩色)ピアノ伴奏付  
アロピアン・ナイトの物語を下敷きに、魔法の笛を手にした靴職人の奇想天外な冒険譚。豪華な美術とステンシル・カラー技術が卓抜。監督のヴォルフコフはロシア革命時にフランスへ亡命し、『キーン』(1923年)などの印象主義映画を生み出したことで知られる。

▶28(ウーファ)(監)(脚)アレクサンダー・ヴォルフコフ(脚)ノルベルト・ファルク、ロベルト・リープマン(撮)クルト・クーラン、ニコライ・トホルコフ、フォードル・ブルガソフ(美)アレクサンドル・ロシャコフ、ヴラディーミル・マインガルト(出)ニコライ・コリン、イワン・ペトロヴィッチ、マルチェラ・アルパニ、ディタ・バルロ



2009年9月12日(土)

[フランス]

## ④ 巴里の暗黒街 AU NOM DE LA LOI (85分・白黒)

調査中に消された刑事の仇を取ろうと、パリ警察の仲間が麻薬密輸団との闘いに乗り出すさまをメランコリックな画調で描き出したモーリス・トゥールヌール作品。無声時代のアメリカで活躍し、フランス帰国後は主に犯罪映画(ポラール)に才を示したトゥールヌールは、アメリカ映画『キャット・ピープル』(1942年)などで知られる監督ジャック・ターナーの父でもある。

▶32(パテ・ナタン)(監)(脚)モーリス・トゥールヌール(脚)ポール・ブランギエ(撮)ジョルジュ・ブノワ他(美)ジャック・コロンビエ(出)マルセル・シャンタル、ガブリエル・ガブリオ、シャルル・ヴァネル、ジャン・マルシヤ

## ⑤ 巴里一伯林

HALLO, HALLO, HIER SPRICHT BERLIN  
(80分・白黒)

パリとベルリンの電話局にそれぞれ勤める男女の物語を軸に繰り広げられる軽妙な恋愛喜劇で、日本に初めてデュヴィヴィエ監督を紹介した作品。製作当時仏語版と独語版が作られたが、所蔵の独語版を上映する。

▶31(フィルム・ソノール・トビス)(監)(脚)ジュリアン・デュヴィヴィエ(撮)ライマール・クンツェ他(美)エーリッヒ・ヘルフォンスキ(音)カロール・ラウハウス(出)ジョゼット・デー、ジェルメヌ・オーセー、ヴォルフガング・クライン

## ⑥ 幕間 ENTR'ACTE

(19分・18fps・無声・白黒)

ピアノ伴奏付—エリック・サティ「シネマ・バレエ“本日休演”の交響的幕間」

前衛芸術界の名士たちが出演したアヴァンギャルド映画の象徴的な一本で、チェスをしているのがマン・レイとデュシャン。飛び跳ねながら大砲を撃つ人々、バレリーナのように踊るヒゲ男など、脈絡を欠いた映像が自在に連なる。スウェーデンの即興バレエ「本日休演」の“幕間”に上映されたルネ・クレールの第2作。

▶24(ロルフ・ド・マレ)(監)ルネ・クレール(脚)(美)(出)フランシス・ヒカビア(撮)ジミー・ペルリエ(出)ジャン・ボラン、マン・レイ、マルセル・デュシャン、インゲ・フリース、ジョルジュ・オーリック、エリック・サティ

## ⑦ 燈台守 GARDIENS DE PHARE

(82分・18fps・無声・染色)ピアノ伴奏付

狂犬病にかかって苦悶する小島の燈台守をめぐる悲劇で、前衛、ドキュメンタリー、商業劇映画を自在に横断した映画作家ジャン・グレミヨンの無声作品。“水のシネアスト”とも呼ばれたグレミヨらしく荒れる海の表現は印象深く、また、職業人の任務遂行も彼の作品に頻出するテーマと言える。日本で発見された染色版の復元プリントを上映する。

▶29(グラン・ギニョル映画社)(監)ジャン・グレミオン(原)ポール・オーティエ、クロクモン(脚)ジャック・フェデー(撮)ジョルジュ・ペリナル他(美)アンドレ・バルザック(出)ジェニカ・アタナシウ、ガブリエル・フォンタン、ジェイモン・ヴィタル、ポール・フロメ  
(⑥⑦は1つのプログラムとして続けて上映します。)